

平成 29 年度
「運営に関する計画」

大阪市立昭和中学校
平成 29 年 4 月

(様式 1)

大阪市立昭和中学校 平成 29 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 全国学力・学習状況調査については、平均正答率は全ての教科において全国平均を上回り、平均無解答率は全ての教科において全国平均を下回るなど、一定の成果を達成することができた。一方、家庭における予習・復習などの学習習慣に課題を残した。
- 全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について「持っている（どちらかといえば持っている）」と答える生徒の割合が全国平均に大きく及ばない。キャリア教育を充実させ、将来の夢や目標を持つ生徒を育てる必要がある。
- 保健体育の授業において、腕立て・腹筋・スクワットなどの補強運動を取り入れ、生徒の基礎体力向上に努め、さらに授業の各場面で、その意義や目的について指導してきた。その結果、全国体力・運動能力、運動習慣等調査において男子の結果が、大阪市・全国と比較したとき、優れている種目が増えた。今後、補強運動の継続はもちろんのこと、筋力、俊敏性、全身持久力を伸ばす運動を取り入れながらも、運動の重要性やその意義、そして楽しさを伝えていくことが必要不可欠である。とりわけ、男女ともに、「反復横跳び」が大阪市・全国平均に届かなかったことから、すばやく動作を繰り返す運動を強化し、俊敏性を伸ばすことが課題である。
- 学校教育 I C T 活用事業のモデル校（平成 25～27 年度）、先進的モデル校（平成 28 年度～）として、研究と実践に一定の成果をおさめることができた。また、平成 29 年 2 月に学校情報化認定委員会より「学校情報化優良校」の認定を受けた。今後は、先進的モデル校として公開研究授業や授業公開を行うことと並行して、「先進校」の認定を受けるべく、さらに研究・実践を積み重ねていく必要がある。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- ・平成 32 年度の校内調査において「学校へ行くのが楽しい」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 85% 以上にする。
- ・平成 32 年度の校内調査において「先生はいじめや校内暴力など私たちが困っていることについて対応してくれる」の項目について「対応してくれる（どちらかといえば対応してくれる）」と答える生徒の割合を 90% 以上にする。
- ・全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について「持っている（どちらかといえば持っている）」と答える生徒の割合を全国平均以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・平成 32 年度の校内調査において「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがある。」の項目について、「ある（どちらかといえば、ある）」と答える生徒の割合を 85% 以上にする。
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における合計得点を男女ともに大阪市平均以上にする。
- ・大阪市「学校教育 I C T 活用事業」先進的モデル校として、学校情報化認定委員会の「学校情報化先進校」の認定を受ける。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95% 以上にする。
- 平成 29 年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 86% 以上にする。
- 平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- 平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- 平成 29 年度の道徳の時間に、読み物資料を教材として、すべての教員が 2 回以上授業を行う。
- 地域と合同の防災教育を年 1 回以上実施する。
- 平成 29 年度末の校内調査において「学校へ行くのが楽しい」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 82% 以上にする。
- 平成 29 年度末の校内調査において「先生はいじめや校内暴力など私たちが困っていることについて対応してくれる」の項目において「対応してくれる（どちらかといえば対応してくれる）」と答える生徒の割合を 87% 以上にする。
- 平成 29 年度の校内調査において「保護者や地域の人々といっしょになって学習や作業をすることがある」の項目において「ある（どちらかといえば、ある）」と答える生徒の割合を 57% 以上にする。
- 全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について「持っている（どちらかといえば持っている）」と答える生徒の割合を昨年度の割合よりも 6 ポイント以上増加させる。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成 29 年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる。
- 平成 29 年度の中学校チャレンジテストにおける正答率 5 割以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。
- 平成 29 年度の中学校チャレンジテストにおける正答率 7 割以上の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント増加させる。
- 平成 29 年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
- 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である反復横跳びの平均の記録を、前年度より 2 ポイント向上させる。

学校園の年度目標

- 平成 29 年度の校内調査において「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがある。」の項目について、「ある（どちらかといえば、ある）」と答える生徒の割合を 82% 以上にする。
- 給食の平均残食率を昨年度より減少させ、体力を保持増進するための食育・体力づくりを推進する。
- 大阪市「学校教育 I C T 活用事業」先進的モデル校として、全教員が公開授業を実施し、I C T の活用を推進する。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立昭和中学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 平成29年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を86%以上にする。 平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。 平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度の道徳の時間に、読み物資料を教材として、すべての教員が2回以上授業を行う。 地域と合同の防災教育を年1回以上実施する。 平成29年度末の校内調査において「学校へ行くのが楽しい」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を82%以上にする。 平成29年度末の校内調査において「先生はいじめや校内暴力など私たちが困っていることについて対応してくれる」の項目において「対応してくれる（どちらかといえば対応してくれる）」と答える生徒の割合を87%以上にする。 平成29年度の校内調査において「保護者や地域の人々といっしょになって学習や作業をすることがある」の項目において「ある（どちらかといえば、ある）」と答える生徒の割合を57%以上にする。 全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について「持っている（どちらかといえば持っている）」と答える生徒の割合を昨年度の割合よりも6ポイント以上増加させる。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策2 道徳心・社会性の育成】 人間としての生き方を考えさせる道徳教育を、道徳教育推進教師を中心に、全教職員の共通理解のもとで推進する。	
指標 全教員が、1年間に2回以上は読み物資料を教材とした道徳の授業実践を行う。	
取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】 音楽・吹奏楽に親しむ機会を創出し、生徒の情操を育む。	
指標 全校生徒を対象とした音楽鑑賞会を1回以上実施する。	

取組内容③【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 「学校いじめ防止基本方針」に則り、すべての教職員が「いじめ」を見抜く鋭敏な感覚を養い、事案の未然防止および早期解決に努める。	
指標 月に1回以上、いじめ防止に関する委員会を開催するとともに全教職員で情報共有する。	
取組内容④【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 災害発生時に支援者となる視点から、安全で安心な社会づくりに貢献する態度を育成する。	
指標 地域関係諸機関と連携した防災教育を、年に1回以上実施する。	
取組内容⑤【施策2 道徳心・社会性の育成】 社会的・職業的自立に向け、子どもの勤労観・職業観を育てるため、職業講話や職業体験学習など、子どもの発達段階に応じた体系的・系統的なキャリア教育を推進する。	
指標 全ての学年において、年に1回以上、キャリア教育を実施する。	
取組内容⑥【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 学校元気アップ地域本部事業と協力し、地域の力を学校に取り込みながら、生徒・保護者・教職員が、潤いのある校内環境を整えることを通して、情操豊かな生徒を育成する。	
指標 生徒・保護者・教職員による校内緑化活動を、年に1回以上実施する。	
取組内容⑦【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 読書習慣を身につけさせ、本を読む楽しさを味わわせる。	
指標 毎週2回以上、朝の読書活動を行うとともに、学校図書館と学級文庫の整備を進め、入館生徒数を昨年度以上にする。	
取組内容⑧【施策2 道徳心・社会性の育成】 インクルーシブ教育の充実と推進を図るために、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」をもとに、自立と社会参加に向けて、個に応じた指導を充実する。	
指標 月に1回は、個に応じた指導について共通理解を図るとともに、年に1回以上指導方法に関わる校内研修会を開催する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

(様式2)

大阪市立昭和中学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる。 平成29年度の中学校チャレンジテストにおける正答率5割以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。 平成29年度の中学校チャレンジテストにおける正答率7割以上の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。 平成29年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。 平成29年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である反復横跳びの平均の記録を、前年度より2ポイント向上させる。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度の校内調査において「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがある。」の項目について、「ある（どちらかといえば、ある）」と答える生徒の割合を82%以上にする。 給食の平均残食率を昨年度より減少させ、体力を保持増進するための食育・体力づくりを推進する。 大阪市「学校教育ICT活用事業」先進的モデル校として、全教員が公開授業を実施し、ICTの活用を推進する。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策5 子ども一人一人の状況に応じた学力向上への取り組み】 放課後等に自主学習時間を設定し、地域コーディネーターやボランティアと協力して、生徒の自主学習を支援する。	
指標 定期テスト前に自主学習会を、土曜学習会も含めそれぞれ4日以上開催する。また夏季休業期間中に自主学習会を3日以上開催する。	
取組内容②【施策5 子ども一人一人の状況に応じた学力向上への取り組み】 個に応じた指導を工夫することで、生徒の基礎学力を向上させる。	
指標 中学生チャレンジテストにおいて、全学年全実施教科の校内平均正答率を大阪市平均正答率以上にする。	
取組内容③【施策6 國際社会において生き抜く力の育成】 先進的モデル校として、活用方法を研究実践し、授業を積極的に公開する。	
指標 全教員が、ICTを活用した公開授業を年1回以上実施する。	

<p>取組内容④【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <p>生徒がICTを活用し、表現する力を育成する。</p>	
<p>指標 ICT を活用し、生徒が主体的に発表する場を、複数の教科において設ける。</p>	
<p>取組内容⑤【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>成長期にある生徒が、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることで、体力の基礎となるよう食育を推進する。</p>	
<p>指標 年度末における学校給食の平均残食率を昨年度よりも3ポイント以上減少させる。</p>	
<p>取組内容⑥【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>望ましい運動習慣を身につけ、基礎体力の向上を図るようにする。</p>	
<p>指標 毎回の授業において、腕立て・腹筋・スクワットなどの補強運動を実施する。</p>	
<p>取組内容⑦【施策8 施策を実現するための仕組みの推進】</p> <p>「校園内研修支援・OJT事業」に則り、すべての対象教員が研究授業を実施し、指導力の向上に取り組む。さらにメンターを中心とした若手教員の研修を実施する。</p>	
<p>指標 若手教員の自主研修を、メンターを中心に学期に1回実施する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点